

学科 学年	M・E・D 3年	科目 分類	歴 史 History	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	鈴木 静恵 SUZUKI Shizue
概 要	2年次の古代史学習を受けて、まず古代末から近世初頭に至る世界史の変遷を概観する。ついで、大航海時代にはじまる近代市民社会形成の経過を学び、特に産業革命に端を発する欧米資本主義諸国の進出によって地球上の全ての地域がその動きに組み込まれて世界の一体化が進められたこと、その結果、戦争も平和も人類全体に関わるものとなり、現代世界の様々な課題が生み出されてきたことを学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	市民社会の形成と発展の歴史を学ぶことで、歴史を動かす市民の力を理解し、21世紀の世界に生きる一人の市民としての自覚を促す。							
教科書 器材等	三省堂：世界史B 改訂版 浜島書店：新詳世界史図説							
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績約70%、平常授業での積極的な学習姿勢（レポート提出等を含む）約30%として評価。60点以上を合格とする。							
関連科目	地理							
授業計画								
第 1回	ガイダンス、5～17世紀のアジア							
第 2回	5～14世紀のヨーロッパ							
第 3回	大航海時代の幕開け							
第 4回	ルネッサンスと宗教改革							
第 5回	絶対主義の時代							
第 6回	市民社会の始まりーイギリス革命とアメリカの独立ー							
第 7回	フランス革命とナポレオン							
第 8回	前期中間試験							
第 9回	産業革命と資本主義の成立							
第10回	ウィーン体制と自由主義の進展							
第11回	国民主義の時代							
第12回	西力東漸下のアジア							
第13回	明治維新と岩倉使節団							
第14回	帝国主義の時代							
第15回	前期期末試験							
第16回	第一次世界大戦							
第17回	ロシア革命と社会主義の実験							
第18回	ヴェルサイユ体制と世界恐慌							
第19回	ファシズムの拡大							
第20回	日本の東アジア侵略							
第21回	第二次世界大戦							
第22回	ヤルタ体制の成立と冷戦の開始							
第23回	後期中間試験							
第24回	冷戦下の世界							
第25回	中華人民共和国のあゆみ							
第26回	アジア・アフリカー自立へのたたかいー							
第27回	冷戦の終結・市民の力							
第28回	20世紀の負の遺産ー核の脅威と環境破壊ー							
第29回	21世紀のはじまり・混迷と希望ーグローバル化の進展と民族問題ー							
第30回	学年末試験							
オフィス アワー	質問等には、授業日の放課後等に対応できる							
備 考	適宜ビデオ教材を使用							